

## 育児休業の取得事例

所 属 : 愛隣園 養護課 こひつじの家

取得期間 : 産前産後休業後 10か月4日

～正規職員女性育児休業取得者～

### 取得したいと思ったきっかけ

出産直後からの1年間は、母子の愛着形成や情緒の安定において重要な時期だと考えます。母乳育児を継続しながら、子どもの欲求に応答する時間を確保するため取得したいと思いました。

### 配偶者の反応

第三子の育児は体力的・精神的な負担も大きいいため、育児休業の取得を必要なことと受け止め理解していたと思います。

### 上司・同僚の反応

妊娠中から体調を気遣ってくださり、温かく配慮してくれました。休業前には、残っていた年休をまとめて取得できるよう調整していただき、安心して休業に入ることができました。

### 取得にあたって準備したこと（仕事面）

業務内容を共有し引継が円滑に進むよう、上司や同僚と相談しながら準備を進めました。

### 取得にあたって準備したこと（家庭・子育て面）

出産後の重要な時期に子どもが安心できる環境の中で、親子の関係が育めるよう家庭内の体制を整えました。

### 育児休業中どう過ごしたか

子どものリズムに合わせて生活し、安心できる環境の中で丁寧に関わる時間を大切にしました。

### 復帰後の働き方と育児について

周囲の協力を得ながら仕事と育児の両立を図り、子どもとの時間を大切にしています。

### 育児休業を取得した感想

0歳という大切な時期に子どもと十分に向き合う時間を持つことができ、とても有意義な期間でした。育児休業の制度と職場の理解に感謝しています。

### これから育児休業を取得する職員へのメッセージ

男女問わず、育児休業は0歳という貴重な時期に子どもと深く関り、親子の関係を育む大切な時間です。安心して取得してほしいと思います。

### 【上司からのメッセージ】

日頃より業務に対する責任感は強く、育児に関しても同様に育休期間を過ごしていたと思います。又、復職に際しても変わらず支援に努めており、頼もしく感じている所です。

## 育児休業の取得事例

所 属：愛隣園 養護課

取得期間：産前産後休業後 5か月22日間

～非常勤女性育児休業取得者～

<p>取得したいと思ったきっかけ 出産後も同じように働きたいと思っている中で、非常勤でも育休がとれると知り、育休を取得することで初めての子育てに、子どもにじっくりと向き合えると思ったからです。</p>
<p>配偶者の反応 旦那には個人事業主で家にいる時間はなく、家事育児に費やす時間はあまりないので助かったと思います。</p>
<p>上司・同僚の反応 上司、同僚から育休のすすめがあり、事務所職員からは戻ってきた時の後の話もあり、安心して取得できました。また、事業（ここサポ）が続くよう後任探しや、業務を引き継いでくれ、ありがたいです。</p>
<p>取得にあたって準備したこと（仕事面） 関係機関への引継（口頭・文面） 心理面接を担当していた里親子、園児へ休みに入ることのお知らせ、今後の引継ぎ先、紹介、終結作業</p>
<p>取得にあたって準備したこと（家庭・子育て面）</p>
<p>育児休業中どう過ごしたか 何もわからない中、手探り状態で必死に子育てしていました。</p>
<p>復帰後の働き方と育児について 慣らし保育、病院受診、予防接種など、休みや午後出勤をせざるを得ない時もあり、また保育園お迎えに間に合うよう協力してくれ、理解のある環境でとても助かっています。産前と変わらない仕事内容でもあるので、ありがたいです。</p>
<p>育児休業を取得した感想 育休を取得したことで、子どもを育てることの大変さ、辛さ、楽しさ、何より一人の命を育てる責任の重さや尊さ、愛しさを改めて実感することができました。育休中は、少し子どもと離れたと思うこともありましたが、子どもとあんなに向き合えて、一緒に笑い、泣き、成長を見れ共に時間を過ごすことは、育休以外でなかなか無い時間だと思います。</p>
<p>これから育児休業を取得する職員へのメッセージ 今思えば、子どもが1才になる直前まで取得すれば良かったなと思います。子どもとの大切な時間、大切にさくさん思い出を作ってください。</p>

### 【上司からのメッセージ】

心理士という特殊業務中、外勤することも多く、産休・育休までの間、業務に励んで頂きました。更に予定復職も早々に復職して頂き、業務に対する使命感の強さに大いに頼れる存在として頑張ってもらっています。育児に奮闘されていると思いますが、成長を見守り子育てを楽しんで欲しいと思います。